「量子 AI 研究から共創教育・全研究科の国際交流への展開：東京大学とシンガポール国立大学の協力」

■日本側実施主担当者 ： SUPPAKITPAISARN, Vorapong（東京大学　情報理工学系研究科　特任准教授）
□ASEAN 側実施担当者 ： YAP, Roland（シンガポール国立大学）

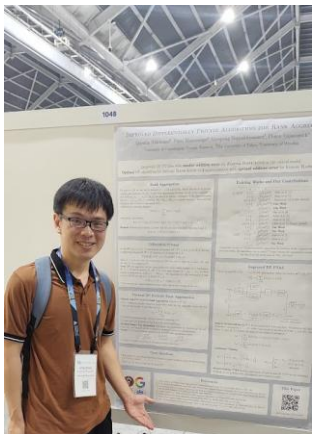
1. 本交流の実施内容と実績・成果

本プログラムを通じて、東京大学情報理工学系研究科のスッパキットパイサーン・ウォラポン特任准教授が 25 日間シンガポール国立大学に滞在し、Yap, Roland 准教授と量子回路最適化およびソーシャルネットワークにおけるプライバシーに関する研究ディスカッションを行った。成果の一つとして、国際ワークショップ Workshop on Quantum Computing for Search and Optimization Problems（QCSOP）にて発表を行った。

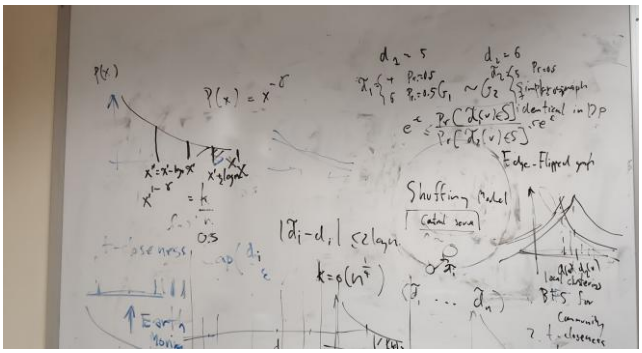
また、同特任准教授は情報理工学国際センターにも所属していることから、Yap 准教授との共同研究にとどまらず、東京大学情報理工学系研究科とシンガポール国立大学との研究科・Faculty レベルの交流強化に関する議論も実施した。これにより交流を一層深化させ、今後、東京大学情報理工学系研究科からシンガポール国立大学へ派遣する学生数の増加が見込まれる。

さらに、Yap 准教授は 9 日間にわたり東京大学を訪問し、滞在中に Suppakitpaisarn 特任准教授との研究ディスカッションを行ったほか、システムセキュリティ分野の教員とも意見交換を行った。これらを通じて、研究室間の交流ネットワークがさらに拡大することが期待される。

2. 活動実績



本プログラムから展開した研究成果を、トップカンファレンス「AAAI 2026」にて発表



議論内容を記したホワイトボード